

令和 6 (2024)年 6 月 19 日

長野県知事 様

## 令和 6 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 4 年度から令和 6 年度	
会社名	株式会社 佐原建設	
住所	〒 3 9 9 - 8 2 0 5 長野県安曇野市豊科 4 9 3 2 - 3 9	
代表者名	代表取締役 佐原 良彦	
業 種	製造業 ・ <span style="border: 1px solid black;">建設業</span>	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	土木部	
担当者名	佐原 弘一	
連絡先	TEL	0 2 6 3 - 7 2 - 2 1 0 0
	FAX	0 2 6 3 - 7 2 - 8 7 7 4
	電子メールアドレス	saharakk@anc-tv.ne.jp
ホームページアドレス	http://www.sahara.com	

## 1 産業廃棄物 3 R 実践方針

分別を徹底し、資源の再使用・再利用の促進を図る。  
不要なものは、購入しない。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	6 年度目標値	5 年度実績値	4 年度実績値	3 年度実績値
総排出量の推移 ( $t \cdot kg \cdot m^3$ )	352.61 t	352.61 t	835.3 t	1128.52 t
リサイクル量の推移 ( $t \cdot kg \cdot m^3$ )	346.76 t	346.76 t	808.93 t	1128.52 t
売上高の推移 (円)	380,000,000	380,000,000	410,000,000	252,000,000

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

設計段階から古材、端材の再使用・再利用の促進を図る。  
 解体作業は、出来る限り手作業とし、分別徹底し、再使用しやすく、混合廃棄物の搬出量縮減を図る。  
 解体等で発生する古材は、保管し再使用する。端材は、事務所内の暖房（薪ストーブ）の燃料とする。  
 最後に処理業者に委託するが、極力、会社内での活用をし、混廃0を目指す。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
- ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
- ・従業員教育(研修)計画
- ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境 ISO 14001、エコアクション 21 等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
再生砕石	80	80	80	90
再生アスファルト	100	100	100	100
木材・古材・仮設材	5	4	10	10
	61.67	61.33	67.3	67.3